

2025年度 6月号

しんじゅくいるまこども園
病児病後児保育室ひまわり

ひまわりだより



雨の日が増え、梅雨が始めようとしています。

この時期は外に出る機会が減り、そもそも日照時間も少ないため、体内リズムや自律神経のバランスが崩れやすく、気分が落ち込むこともあります。イライラや気持ちの不安定さを感じたら、室内でも意識的に体を動かしたり、日中の明るい時間に外の光を浴びてリフレッシュするなど、ちょっとした工夫を取り入れてみましょう。

気を付けよう！夏にはやる感染症

【手足口病】

- ★手のひら、足の裏、口の中に発疹や水疱ができます。
- ★熱は出ないこともあります。

【ヘルパンギーナ】

- ★口の中に発疹や水疱ができます。
- ★高熱(39℃くらい)が出ることが多いです。

【手足口病】と【ヘルパンギーナ】の気を付けたいポイント

- ★特効薬はなく、痛み止めや解熱剤など、対症療法で治るのを待ちます。
- ★口の中の発疹は痛みがあり、食事や水分を嫌がる場合があります。脱水や低血糖にならないよう、冷たい飲み物やのどごしの良い食事など、少しずつでも口にできるものをあげましょう。
- ★症状が無くなったあとも2週間～4週間ほど、便にウイルスが含まれているため、オムツをかえる際は注意しましょう。手洗いうがいを忘れずに！
- ★原因ウイルスにはアルコールが効きにくいので、次亜塩素酸ナトリウムの消毒液を使いましょう。

【咽頭結膜熱(プール熱)】

- ★高熱・のどの痛み・目の充血や目やにが出ます。
- ★アデノウイルスが原因で、感染力が非常に強いです。タオルの共用はせず、手洗い・うがい、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒で感染を予防しましょう。
- ★特効薬はなく、痛み止めや解熱剤など、対症療法で治るのを待ちます。同じアデノウイルスが原因の【流行性角結膜炎(はやり目)】は当保育室ではお預かりできません。

5月の利用状況

主な疾患名

- のべ43名
- ・上気道炎
 - ・中耳炎
 - ・胃腸炎
 - ・気管支炎
 - ・副鼻腔炎
 - ・鼻咽喉炎
 - ・溶連菌感染症
 - ・パラインフルエンザ

病児病後児保育室の利用には、**事前登録**が必要です。事前登録や利用方法など、詳しくはホームページをご覧ください。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせはこちら

☎ 03-6302-1225

受付時間 7:30 ~ 18:00